

TOTO

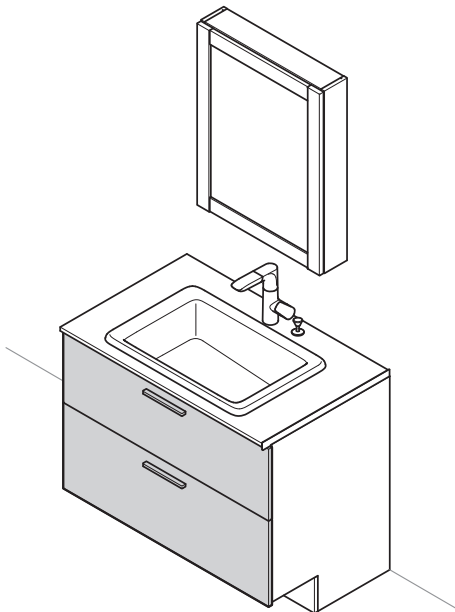
組立・設置説明書

センターボウルプラン

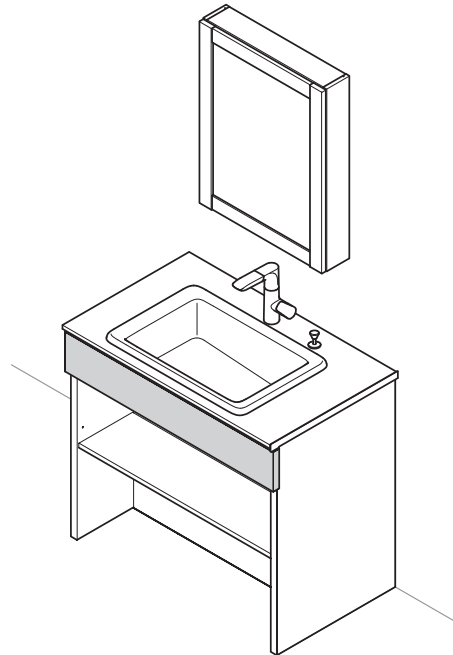
ドレーナシリーズ

商品の機能が十分に発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

扉・引き出しタイプ



オープンタイプ



もくじ

はじめに

もくじ	2
部品の確認	3
安全上のご注意	5

取り付け手順

1. 取り付けの前に 6

- 1 設置寸法
- 2 使用条件
- 3 取り付け条件
- 4 洗面化粧台を取り付ける前に

2. キャビネットの取り付け 9

- 1 部材の取り外し
- 2 給・排水穴の穴あけ
- 3 クッション材の貼り付け
- 4 キャビネットの取り付け
- 5 三面鏡仮固定アングルの取り付け
- 6 バックパネルの取り付け

3. 洗面ボウルの取り付け 11



陶器製 広ふかボウル 11

- 1 洗面ボウルの取り付け準備
- 2 クッション材の貼り付け
- 3 マスキングテープの貼り付け
- 4 洗面ボウルの取り付け
- 5 水栓金具の取り付け
- 6 押しボタンの取り付け
- 7 排水ユニットの取り付け
- 8 ジョイントの取り付け



陶器製 洗面ボウル（ベッセル式） 13

- 1 洗面ボウルの取り付け準備
- 2 排水金具の取り付け
- 3 クッション材の貼り付け
- 4 Tボルトの取り付け
- 5 マスキングテープの貼り付け
- 6 水栓金具の取り付け
- 7 洗面ボウルの取り付け
- 8 機能部（クランク管）ユニット・排水栓の取り付け
- 9 水栓本体とジョイントの取り付け

4. 配管接続 16

- 1 止水栓の取り付け
- 2 機器類の取り付け
- 3 給水・給湯の接続
- 4 排水トラップの取り付け
- 5 底板の取り付け（扉・引き出しタイプ）
- 6 水受けトレイの取り付け（ホース引き出し式水栓）

5. 仕上げ 18

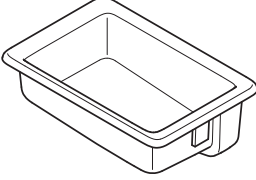




- 1 壁や洗面ボウルまわりの処理方法
- 2 部材の取り付けと調整
- 3 取り付け完了後の確認と清掃
- 4 凍結予防の仕方

部品の確認

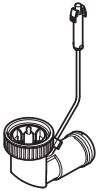


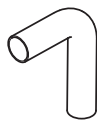




陶器製 広ふかボウル(品番：LZBLU567型)

【洗面ボウル】

洗面ボウル 	クッション(白) 	固定具 	なべタッピンねじ (φ4.5×14) 	排水栓 
1個	1個	2個	4本	1セット

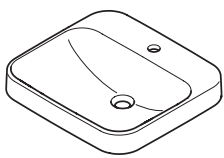




【排水金具】

排水ユニット(樹脂)					排水トラップ
L継手 	パッキン 	ナット 	Lパイプ 	押しボタン 	
各1セット					1セット

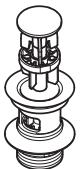

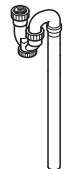


陶器製 洗面ボウル(ベッセル式)(品番：LZBLS718C型)

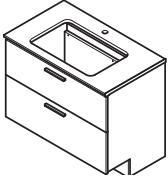
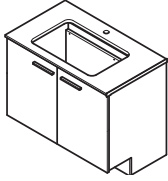
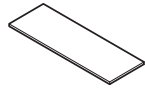



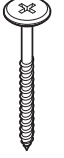




【洗面ボウル】

洗面ボウル 	クッション(白) 	固定具セット		
		ナット付き Tボルト 	ワッシャー 	蝶ナット 
1個	1個	2本	2個	2個

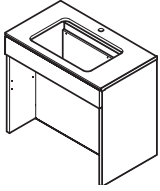






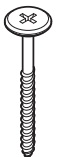




【排水金具】

排水金具 	機能部(クランク管) ユニット 	排水トラップ 
各1セット		

扉・引き出しタイプ

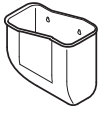


キャビネット		底板	取扱説明書	組立・設置説明書 (本書)	クッション(黒)
引き出しタイプ	扉タイプ				
					
1個	1個	1セット	1セット	1冊	1個
付属品					
座付タッピンねじ (φ5.2×55)	トラスタッピンねじ (φ3.5×12)	給水ふた	排水ふた	防臭栓	
					
3本	4本	2個	1個	1個	

オープンタイプ

キャビネット	棚板	取扱説明書	組立・設置説明書 (本書)	クッション(黒)	棚受けダボ (φ4.8×18)
					
1個	1枚	1セット	1冊	1個	4個
付属品A			トレイ置き台 ※1	付属品B ※1	
座付タッピンねじ (φ5.2×55)	給水ふた	防臭栓		座付タッピンねじ (φ3.9×28)	化粧キャップ
					
3本	2個	1個	1枚	2本	2個

※1：設置についてはP.17を参照ください。

【水受けトレイ(L0216)】

水受けトレイ	付属品	
	トラスタッピンねじ (φ3.5×10)	トラスタッピンねじ (φ3.5×30)
		
1個	2本	4本 ※2

※2：使用しません。

安全上のご注意

- ・取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- ・この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただくために必ずお守りいただくことを、お知らせしています。使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この記号は、してはいけない「禁止」内容です。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

●取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。

紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

警告



禁止

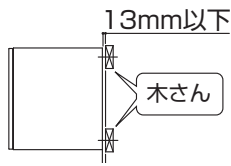
浴室などの湿気が多い場所へ設置しない
漏電により感電するおそれがあります。

水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者・指定業者」が行う
火災や感電および水漏れの原因になります。



必ず実行

壁固定用ねじ取付位置に木さんを入れて補強する
キャビネットが転倒しけがをするおそれがあります。



必ず実行

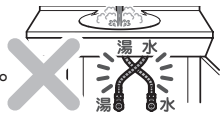
取り付けねじをカラまわり(空転)をさせない
取り付けねじが1本でもカラまわり(空転)していると、商品がぐらつく原因になります。

電源はAC100Vを使用する
AC100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。

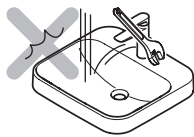


注意

湯・水を逆に配管しない
水側でいきなり湯が出て、やけどをするおそれがあります。

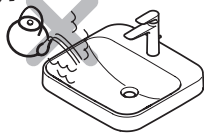


洗面ボウルにかたい物を落とさない
洗面ボウルが破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

洗面ボウルに熱湯を注がない
洗面ボウルが破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

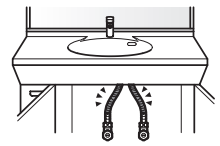


洗面ボウルに強い力や衝撃を与えない
洗面ボウルが破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



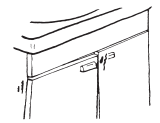
取り付け完了後、給排水管から水漏れがないかを必ず確認する
水漏れを起こすと、家財などに損害を与える原因になります。

凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う
凍結破損で水漏れし家財などに損害を与える原因になります。



必ず実行

取り付け完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する
使用中にキャビネット・扉が落下してけがをするおそれがあります。



組立・設置や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないよう注意する
金属類が陶器表面をこすり、すじ状の跡がつく原因になります。

1. 取り付けの前に

1 設置寸法

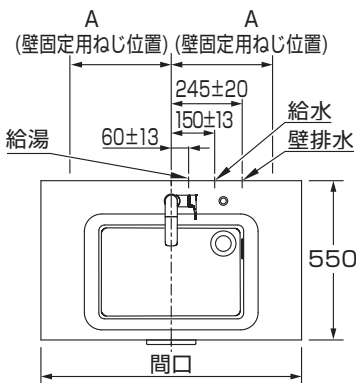


陶器製 広ふかボウル

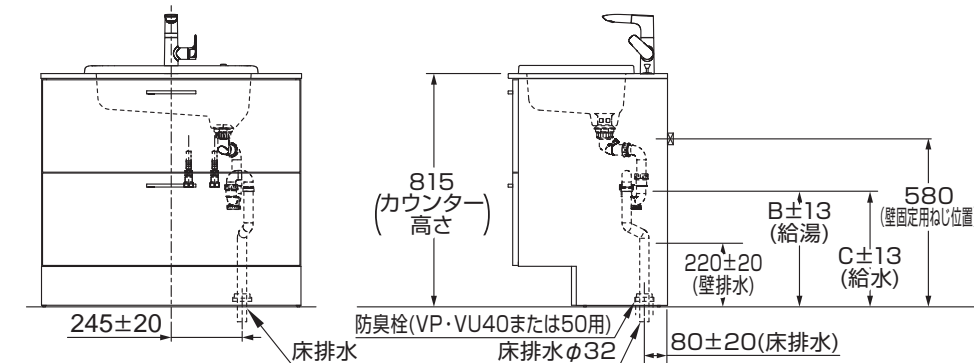
- 止水栓は付属していませんので、必要な場合は下記品番の別売品をご購入ください。
- 壁排水トラップは付属していませんので、必要な場合は別売品のL0159をご購入ください。
- 特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。

間口	タイプ	750	900	水栓		なし		「きれい除菌水」生成器	
				B	C	B	C		
A	扉	325	350	台付シングル混合水栓		400	400	400	350
	引き出し			台付シングル混合水栓(ホース付き:手動)		350	400	350	350
	オープン	313	388	台付シングル混合水栓(ホース付き:タッチレス)		350	350	350	300

壁給水の場合

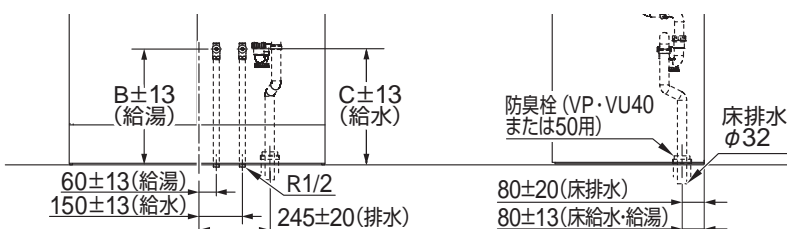


止水栓品番		数量
給水・給湯	LTL4C11U	2個



床給水・樹脂配管の場合

- 樹脂配管をご使用の場合は、TSAS4BJZAをご購入ください。



水栓	オプションあり/なし	止水栓品番	数量
台付シングル混合水栓	なし	給湯・給水	LTL4D12U 2個
	「きれい除菌水」生成器	給湯	LTL4D12U 各1個
		給水	LTL4D13U 各1個
台付シングル混合水栓(ホース付き:手動)	なし	給湯	LTL4D13U 各1個
	「きれい除菌水」生成器	給湯	LTL4D12U 各1個
		給水	LTL4D13U 2個
台付シングル混合水栓(ホース付き:タッチレス)	なし	給湯・給水	LTL4D13U 2個
	「きれい除菌水」生成器	給湯	LTL4D13U 各1個
		給水	LTL4D14U 各1個

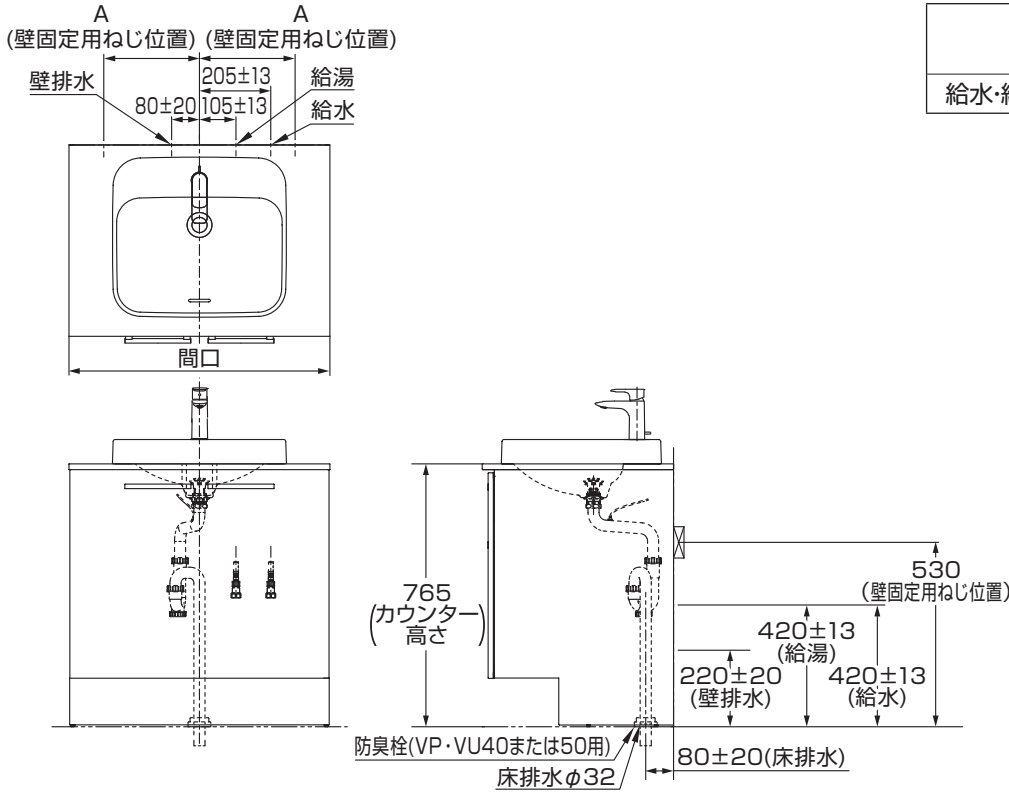


陶器製 洗面ボウル(ベッセル式)

- 止水栓は付属していませんので、必要な場合は下記品番の別売品をご購入ください。
- 壁排水トラップは付属していませんので、必要な場合は別売品のL0159をご購入ください。
- 特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。

間口	タイプ	750	900
A	扉	325	350
	引き出し		
	オープン	313	388

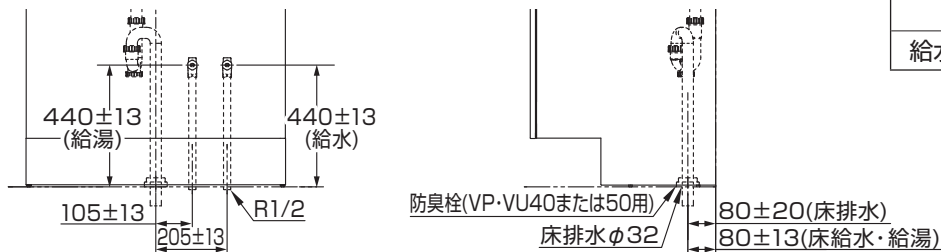
壁給水の場合



止水栓品番		数量
給水・給湯	LTL4C11U	2個

床給水・樹脂配管の場合

- 樹脂配管をご使用の場合は、TSAS4BJZAをご購入ください。



止水栓品番		数量
給水・給湯	LTL4D11U	2個

2 使用条件

※水栓金具・機器類などの使用条件は専用の施工説明書をご参照ください。

3 取り付け条件

警告

- キャビネットの壁固定部分には、設置壁の裏面に固定用木さんを入れる

※木さんを使用せず、下地材を合板とする場合は、設置壁の全面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付ける(建築工事)



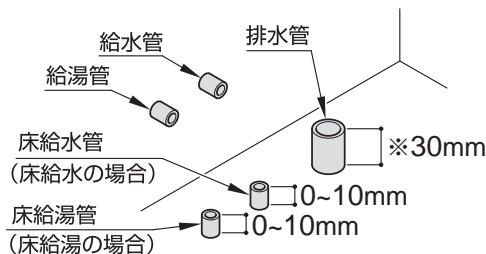
必ず実行

- コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴を明け、壁固定用ねじにあったプラグ(引抜き強度: 1,000N以上/本)を打ち込んでおく
- プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備する

※プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。

商品が転倒しけがをするおそれがあります。

- 洗面化粧台を取り付ける床面、壁面はクロス貼りなどの仕上げを施す
- カウンターまわりの壁は、湿気や被水の影響に配慮した壁仕上げ(下地材・表面材)とする
- 給水管を所定の位置に取り出す
- 器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す
- 排水管を所定の位置に仕上げ面より下記要領で立ち上げる
※排水管はVU40・VU50または、VP40・VP50を使用してください。



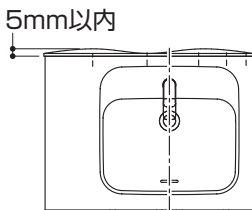
※電気温水器をセットする場合は、80mmで立ち上げてください。

※排水管と仕上げ面の取り出し穴にすき間がある場合は、シリコンシール材でシールしてください。

- 三方壁に設置する場合は、商品開口に対して片側5mm以上のクリアランスを確保する
さらにドア枠、額縁、幅木のチリを考慮してから壁仕上げ寸法を決める

- 取り付けは必ず平滑な壁面とする
洗面化粧台取り付け壁面の水平・垂直の精度が出ていること

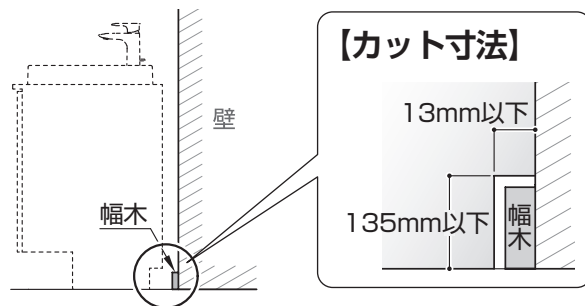
※壁面の平面度により、建築躯体、壁面への被水、汚損などが生じるおそれがあります。カウンター止水パッキン(クッション材)を確実につぶすために平面度は5mm以内におさえてください。



4 洗面化粧台を取り付ける前に

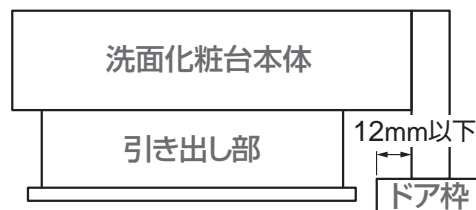
確認1 壁に幅木はありますか？

- ➔壁に幅木がある場合は、下記寸法以下であれば洗面化粧台後部をカットできます。



確認2 洗面化粧台はドア枠対応商品ですか？

- ➔ドア枠対応商品の場合、ドア枠の出幅を確認してください。
※12mm以下になっているか確認ください。



確認3 「きれい除菌水」生成器・魔法びん電気即湯器を取り付けますか？

- ➔取り付けの場合は、コンセントが必要です。壁付きコンセント位置を確認してください。

※魔法びん電気即湯器を取り付ける場合は、アースターミナル付きコンセントが必要です。

- ➔取り付け要領を確認してください。

※取り付け要領は各商品に付属の施工説明書をご参照ください。

2. キャビネットの取り付け

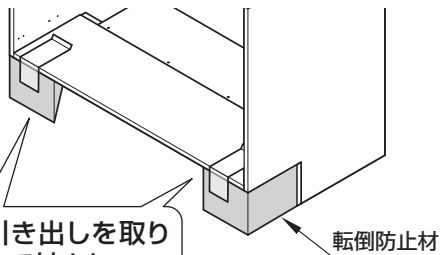
- キャビネットをひきずらない

1 部材の取り外し

扉・引き出しタイプ

① 扉・引き出しを取り外す

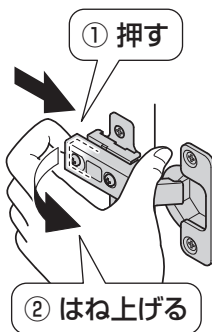
※フロアキャビネット下部に取り付けてある転倒防止材は扉・引き出しを取り外すまで外さないでください。



※扉・引き出しは傷つかないように養生等をして保管ください。

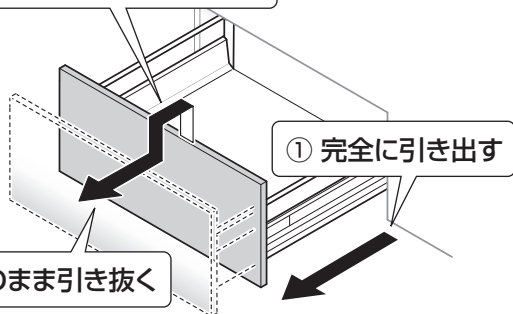
- 取り付け完了後、元に戻す

〈扉タイプ〉



〈引き出しタイプ〉

② 手前を少し持ち上げ、引っ張りながら一度下ろす



⚠ 注意



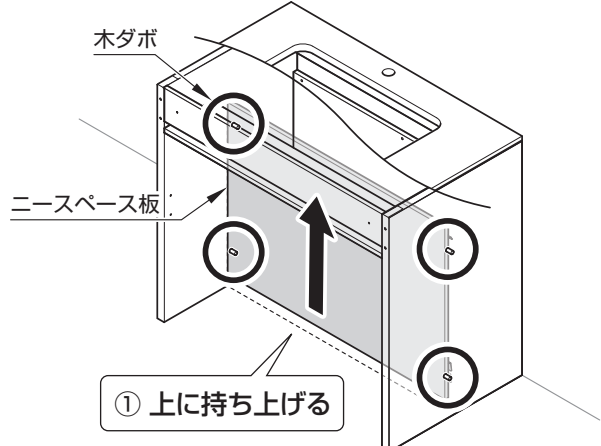
ギャラリーバー部分を持たない

ギャラリーバーが外れて引き出しが落下し、けがをするおそれがあります。

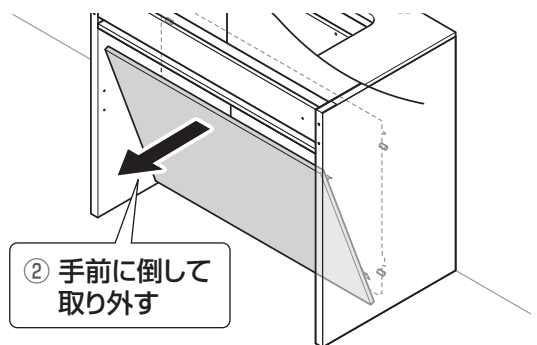
ギャラリーバー

オープンタイプ

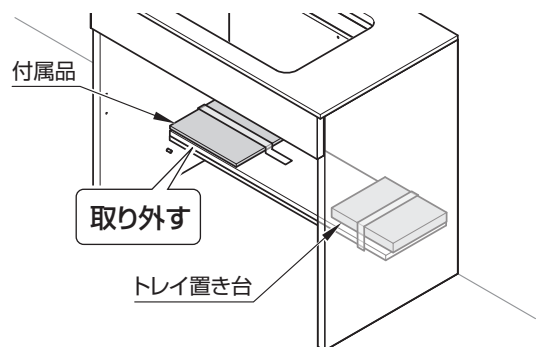
① ニースペース板を取り外す



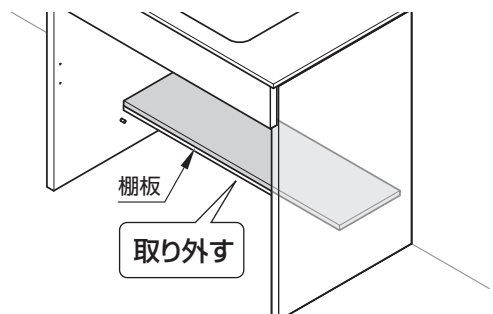
※ニースペース板が木ダボから外れます。



② トレイ置き台・付属品を取り外す



③ 棚板を取り外す



2 給・排水穴の穴あけ

扉・引き出しタイプの場合

給水・排水の位置に合わせて、フロアキャビネットに給水穴・給湯穴(φ30~50×2カ所)、排水穴(φ50)を穴あけする

オープンタイプの場合

壁給排水の場合、裏板に上記要領で穴あけをしてください。

注意



必ず実行

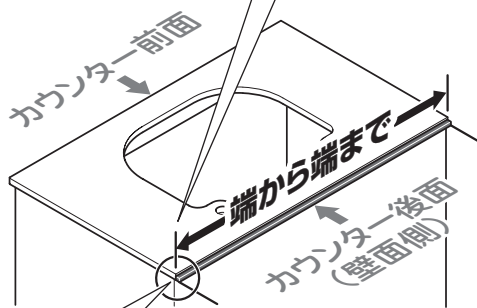
底板端部など、開口まわりに10mm以上の残り代を必ず確保する
底板が破損するおそれがあります。



3 クッション材の貼り付け

- キャビネットを取り付ける前に確実にカウンター後面にクッション材(黒)を貼り付ける

カウンター後面の端から端(カウンター間口分)まで貼り付ける
※長さが余ったらカットしてください。



ねじれないようにカウンター下端に合わせる

クッション材(黒)

注意



必ず実行

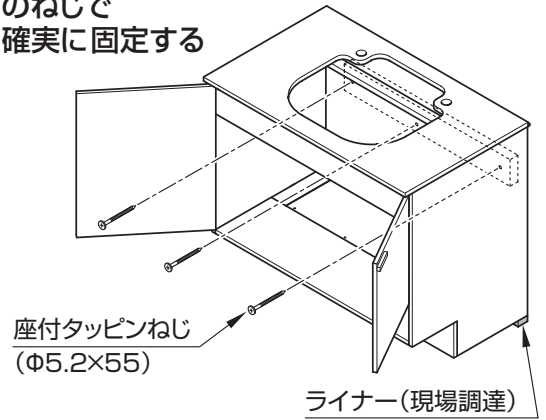
クッション材(黒)を、必ず取り付ける
水漏れし、家財などに損害を与える原因になります。

4 キャビネットの取り付け

- 商品を手水平・垂直になるように取り付ける

※床・壁面にゆがみがある場合は、ライナー(現場調達)を入れて調整してください。

- 付属のねじで壁に確実に固定する



座付タッピンねじ(φ5.2×55)

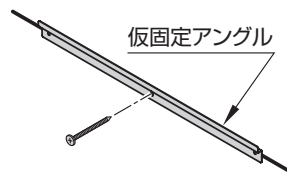
ライナー(現場調達)

5 三面鏡仮固定アングルの取り付け

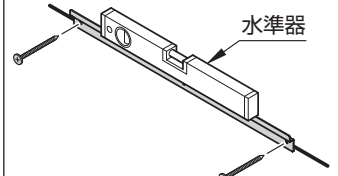
三面鏡を設置するプランの場合

- フロアキャビネット固定後、仮固定アングルを取り付ける
※ 仮固定用アングルは、化粧鏡に付属しています。

- ② けがき線の上に仮固定アングルの中心を固定する

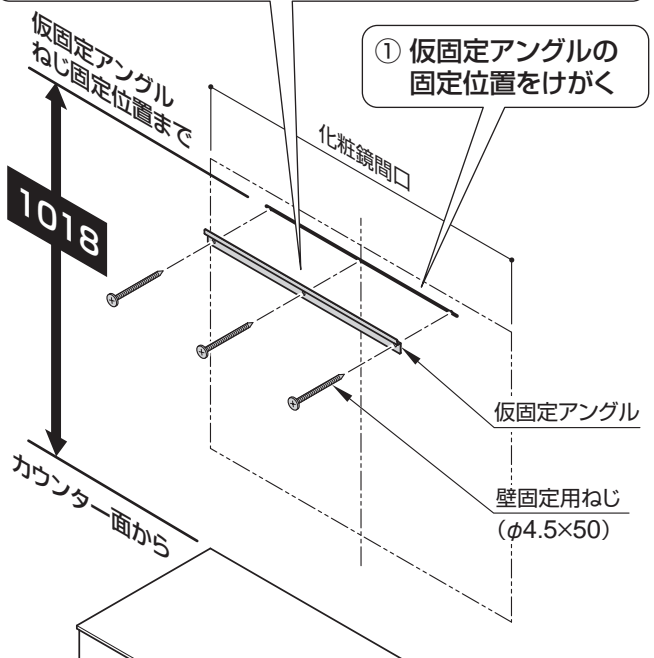


- ③ 水準器で水平を確認しながらアングル左右位置をねじ固定する



※左右の穴の中心にけがき線がきているか確認する

- ① 仮固定アングルの固定位置をけがく



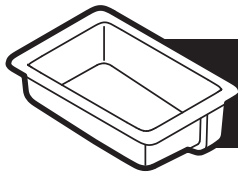
6 バックパネルの取り付け

バックパネルを設置するプランの場合

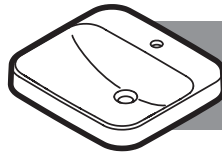
- ※ 設置する部分のクロスをはがしてください。
詳細はバックパネルに同梱の組立・設置説明書をご確認ください。

3. 洗面ボウルの取り付け

「洗面ボウルの種類」により取り付け方法が異なります



陶器製 広ふかボウル
品番: LZBLU567型



陶器製 洗面ボウ(ベッセル式)
品番: LZBLS718C型

P.13 へ



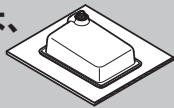
陶器製 広ふかボウル

1 洗面ボウルの取り付け準備

- 荷扱いにご注意ください。
ベルトのバックルや時計、指輪等で陶器に傷が付きます。
※もし傷が付いてしまったら、「蛇口まわりのクリーナー(別売品)」をスポンジなどに付けて、こすってください。

重要

洗面ボウル上面を下側に向ける際は、
段ボールなどで養生する
※洗面ボウルに傷が付くおそれがあります。



2 クッション材の貼り付け

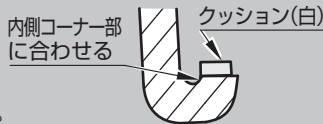
クッション材のセパレーターをはがしながら、
洗面ボウル裏面にクッション材を貼り付け
※貼り付け面の汚れ、ほこりなど十分に拭き取ってください。

重要

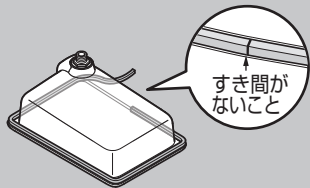
洗面ボウルの裏面にクッション材を必ず貼り付ける

※取り付ける際にカウンターに傷が付くおそれがあります。

- 洗面ボウル裏面の内側コーナー部に合わせ貼り付けてください。
※設置後にクッション材がはみ出すことがあります。

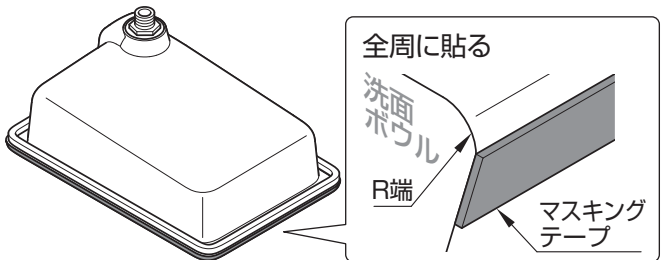


- 洗面ボウル後部から貼り付けてください。
※貼り終わり箇所は必ずすき間がないようにしてください。



3 マスキングテープの貼り付け

洗面ボウル取り付け前にマスキングテープを貼り付け
※洗面ボウルまわりの仕上げが行いやすくなります。



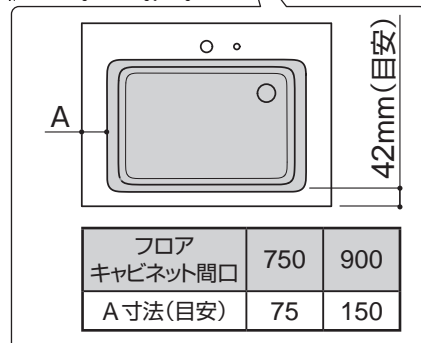
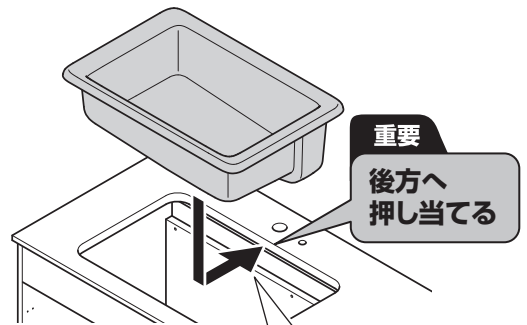
4 洗面ボウルの取り付け

① 洗面ボウルをカウンターに設置

重要

必ず、洗面ボウルの裏にクッション材を貼り付け後、
カウンターに取り付ける

※取り付ける際にカウンターに傷が付くおそれがあります。
クッション材がはみ出していないことを確認してください。

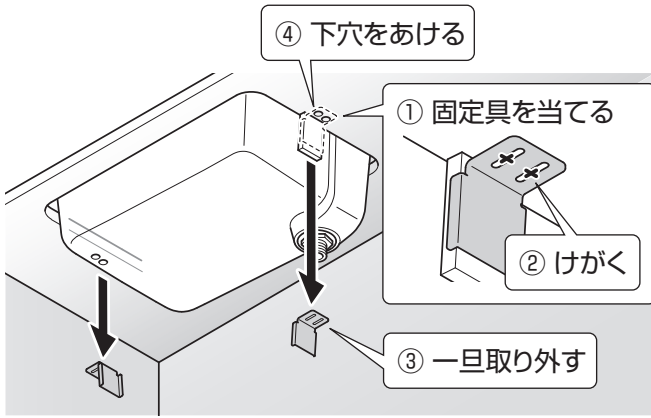


2 カウンター裏面から下穴位置をけがき、固定具を外し下穴をあける

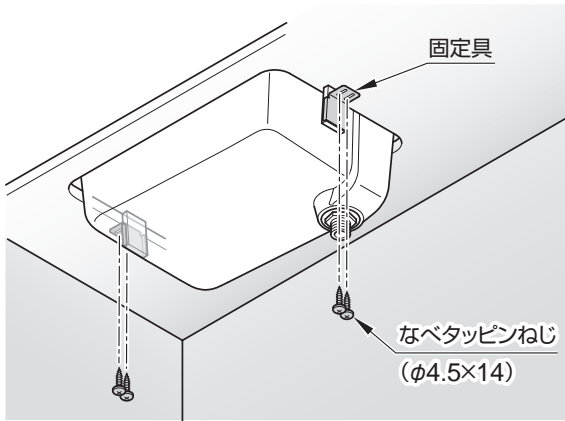
※スペーサー（左右側面）に付属している固定具を当て、けがいてください。

重要

ドリル(φ3)で下穴をあける
※貫通させないでください。



3 カウンターに固定具を取り付ける

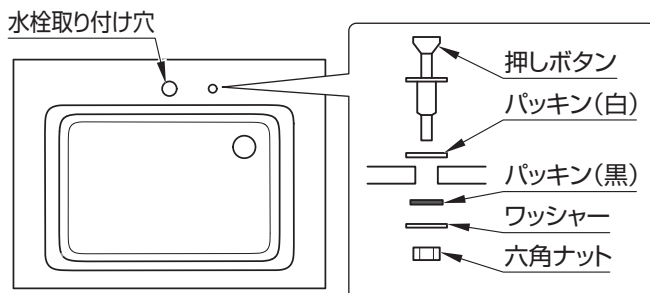


5 水栓金具の取り付け

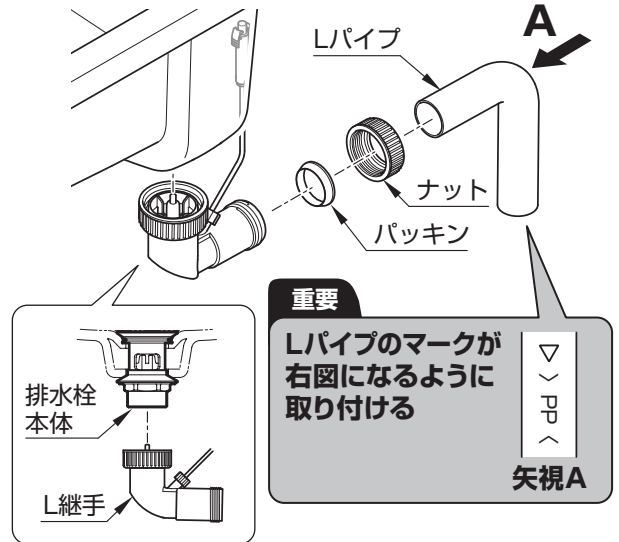
※取り付けについては、水栓金具の施工説明書をご参照ください。

6 押しボタンの取り付け

六角ナットを締めて操作部をしっかりと固定する



7 排水ユニットの取り付け



重要

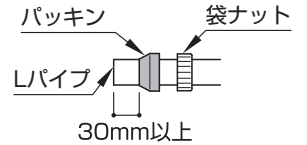
Lパイプのマークが右側になるように取り付ける

矢視A

注意

・Lパイプ・パッキンの方向に注意する

・パッキンは右側の位置に取り付ける



必ず実行

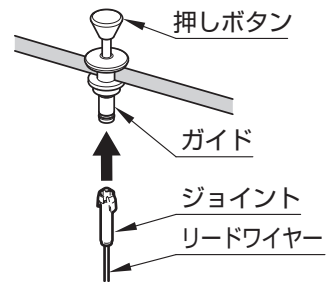
・袋ナットは工具を使用せず、手で確実に締め付ける

水漏れし、家財などに損害を与える原因になります。

8 ジョイントの取り付け

1 ジョイント側のつめ部がガイドの溝に入るまで差し込む

※リードワイヤーは最小曲げR20以上確保してください。



2 水栓の押しボタンを2~3度操作して、排水栓が正常に開閉するか確認する

注意



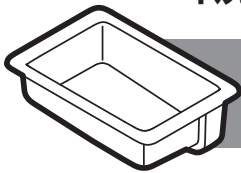
必ず実行

ジョイント部を2~3回引っ張り、抜けないことを確認する

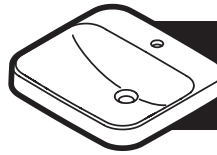
ただし、リードワイヤーを持って引っ張らない
ジョイント部が外れると、水漏れし、家財などに損害を与える原因になります。

ここで「5.洗面ボウルの取り付け（陶器製 広ふかボウル）」は完了です

「洗面ボウルの種類」により取り付け方法が異なります



陶器製 広ふかボウル
品番: LZBLU567型



陶器製 洗面ボウ(ベッセル式)
品番: LZBLS718C型

P.11 へ



陶器製 洗面ボウ(ベッセル式)

1 洗面ボウルの取り付け準備

- 荷扱いにご注意ください。
ベルトのバックルや時計、指輪等で陶器に傷が付きます。
※もし傷が付いてしまったら、「蛇口まわりのクリーナー(別売品)」
をスポンジなどに付けて、こすってください。

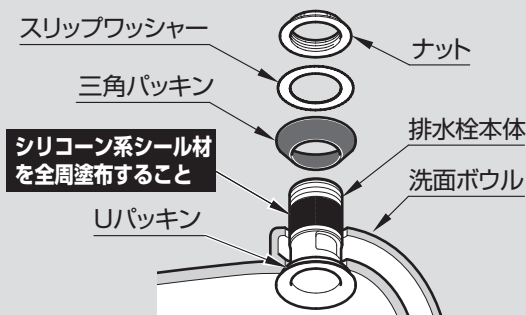
重要

洗面ボウル上面を下側に向ける際は、
段ボールなどで養生する
※洗面ボウルに傷が付くおそれがあります。



2 排水金具の取り付け

- 1 シリコン系シール材(現場調達)を排水栓本体のねじ部全周に塗布
- 2 三角パッキン、スリップワッシャー、ナットの順に締め付け



⚠ 注意

- **設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する**
正常な取り付けができなくなる可能性があります。
- **三角パッキンの方向に注意して取り付ける**
水漏れし、家財などに損害を与える原因になります。
- **ナットは三角パッキンの弾性を失わない程度に締め付ける**
強く締めすぎると、洗面ボウルが破損してけがをするおそれがあります。
- **排水栓本体のねじ部全周にシリコン系シール材を塗布する**
ねじ部から水漏れし、家財などに損害を与える原因になります。



必ず実行

3 クッション材の貼り付け

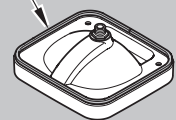
クッション材のセパレーターをはがしながら、洗面ボウル裏面にクッション材を貼り付け
※貼り付け面の汚れ、ほこりなど十分に拭き取ってください。

重要

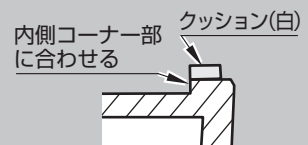
洗面ボウルの裏面にクッション材を必ず貼り付ける

※取り付ける際にカウンターに傷が付くおそれがあります。

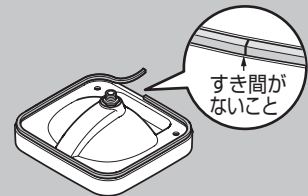
クッション(白)



- 洗面ボウル裏面の内側コーナー部に合わせ貼り付けてください。
※設置後にクッション材がはみ出すことがあります。

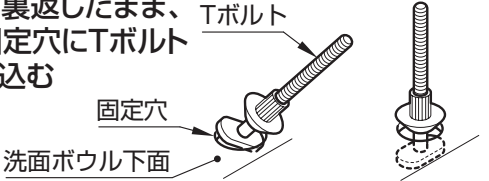
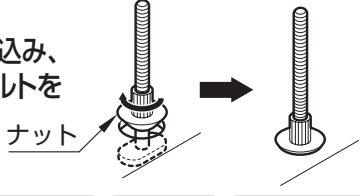


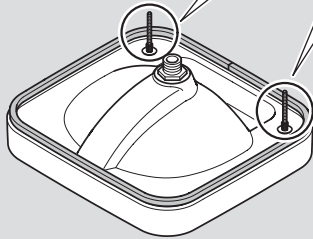
- 洗面ボウル後部から貼り付けてください。
※貼り終わり箇所は必ずすき間がないようにしてください。



MEMO

4 Tボルトの取り付け

- 1 陶器を裏返したまま、洗面固定穴にTボルトを差し込む

- 2 ナットを回して締め込み、洗面固定穴にTボルトを仮固定する


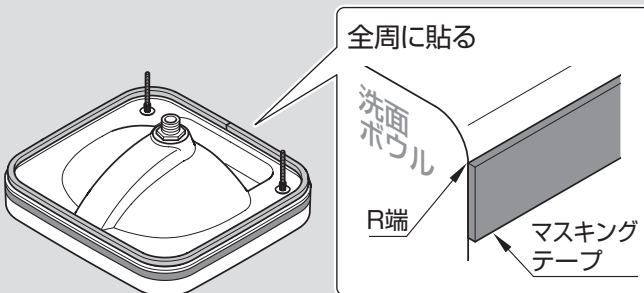


重要

- ナットの締め付けは、手締めで行う
 ※ペンチ・プライヤーなど工具を使用すると、固定穴具や洗面ボウル固定穴が破損し、正常な設置ができず、がたつきなどが発生するおそれがあります。
- 必ず、ナットが陶器と接触するまで締めこむ
 ※取り付けの際に、陶器から外れてしまうことがあります。
- 必ず、Tボルトが傾いていないことを確認する
 ※カウンター取り付け時に、Tボルトが外れることがあります。

5 マスキングテープの貼り付け

洗面ボウル取り付け前にマスキングテープを貼り付け
 ※洗面ボウルまわりの仕上げが行いやすくなります。



6 水栓金具の取り付け

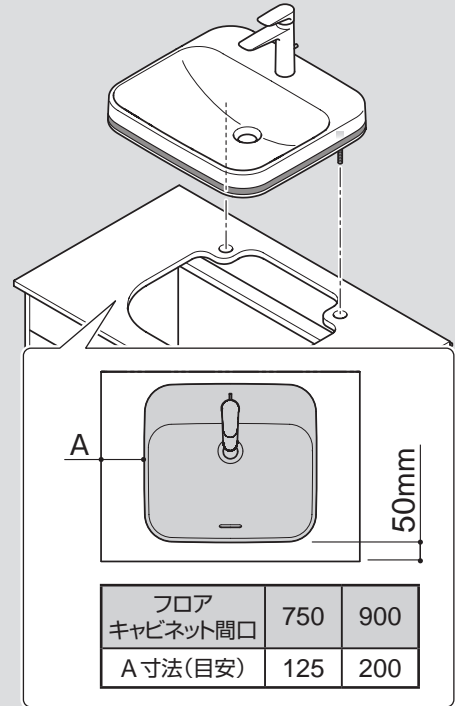
※取り付けについては、水栓金具の施工説明書をご参照ください。

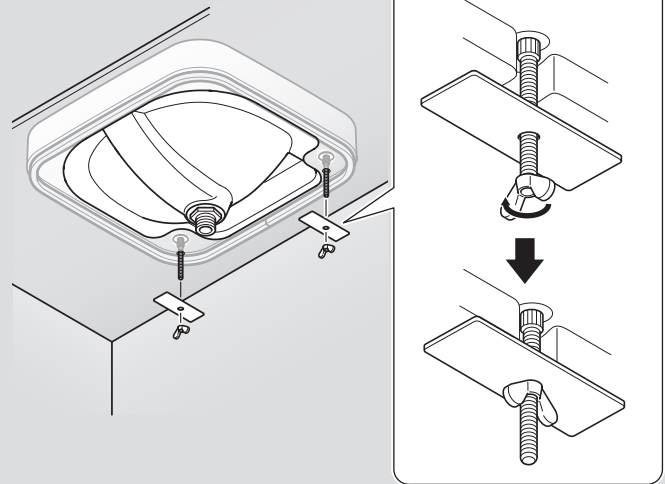
7 洗面ボウルの取り付け

- 1 Tボルトをカウンター穴位置にあわせ、ゆっくりと洗面ボウルを下ろす

重要

- 必ず、Tボルトの飛び出し位置とカウンターの固定穴部を確認して、カウンターに取り付ける
 ※取り付けの際にカウンターに傷が付くおそれがあります。
- クッション材がはみ出していないことを確認する



- 2 カウンター下面からTボルトにワッシャーを入れ、蝶ナットで締め付ける


⚠ 注意

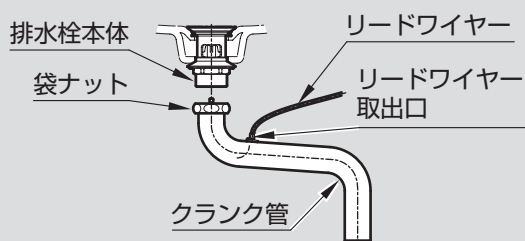


必ず実行

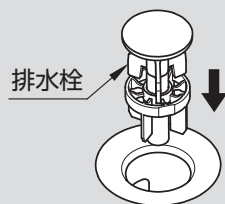
蝶ナットの締め付けは、手締めで行う
 ペンチ・プライヤーなど工具を使用すると、固定穴具や洗面ボウル固定穴が破損し、正常な設置ができず、がたつきなどが発生するおそれがあります。

8 機能部(クランク管)ユニット・排水栓の取り付け

- クランク管のリードワイヤー取り出し口を水栓方向に向ける
- 排水栓本体とクランク管を袋ナットにて締め付ける



- 排水栓を取り付ける



⚠ 注意



手で袋ナットを締めたあと、スパナなどの工具で半回転程度締め付ける

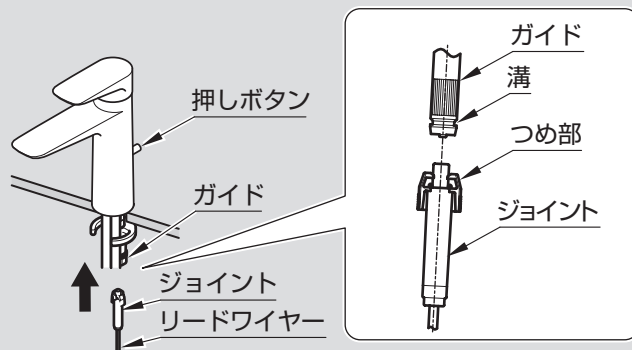
必ず実行 水漏れし、家財などに損害を与える原因になります。

9 水栓本体とジョイントの取り付け

水栓の後ろにボタンがある場合

- ジョイント側のつめ部がガイドの溝に入るまで差し込む

※リードワイヤーは最小曲げR20以上確保してください。



- 水栓の押しボタンを2~3度操作して、排水栓が正常に開閉するか確認する

⚠ 注意



ジョイント部を2~3回引っ張り、抜けないことを確認する

必ず実行

ただし、リードワイヤーを持って引っ張らない
ジョイント部が外れると、水漏れし、家財などに損害を与える原因になります。

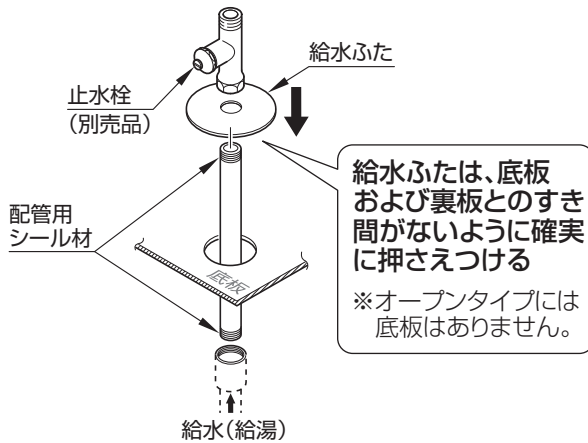
ここで「5. 洗面ボウルの取り付け(陶器製 洗面ボウル(ベッセル式))」は完了です

4. 配管接続

1 止水栓の取り付け

- 止水栓は工具で確実に締め付ける
- 樹脂配管対応はTSAS4BJZAに付属の施工説明書を参照する

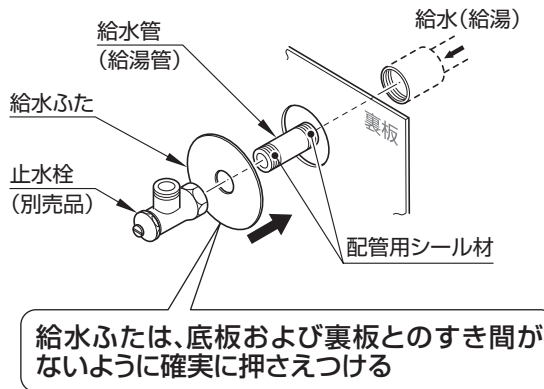
床給水の場合



重要

止水栓は洗面ボウル高さを確認して指定の止水栓を使用する

壁給水の場合



2 機器類の取り付け

機器類・水栓機能部を取り付ける

※取り付けについては、水栓・機器類付属の施工説明書を参照ください。

3 給水・給湯の接続

※給水・給湯の接続は、水栓金具に付属の施工説明書に従い接続してください。

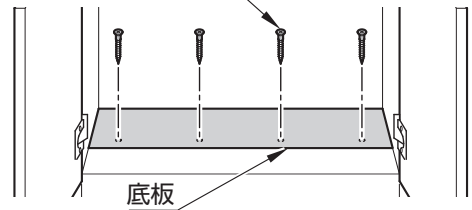
4 排水トラップの取り付け

※取り付けについては、排水トラップに付属の組立・設置説明書をご参照ください。

5 底板の取り付け(扉・引き出しタイプ)

底板をねじで固定する

トラスタッピンねじ
4本(φ3.5×12)



MEMO

6 水受けトレイの取り付け(ホース引き出し式水栓)

※取り付けについては、水栓金具の施工説明書をご参照ください。

重要

必ず水受けトレイを設置する

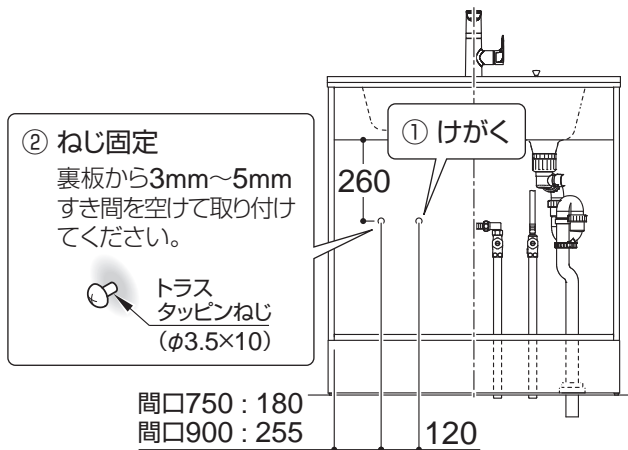
※シャワーホースを伝わる水が受けられるようにしてください。

- 仕様によって、水受けトレイの形状・設置方法が違います。

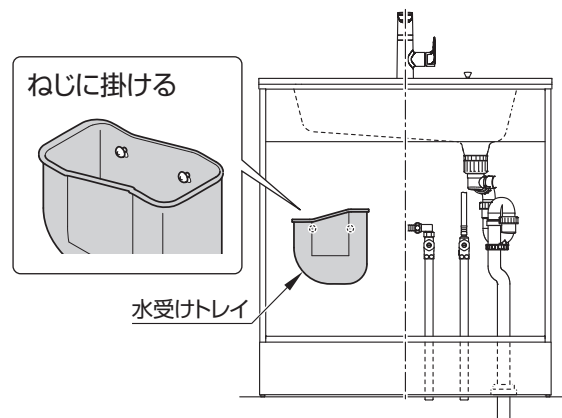
〈「きれい除菌水」生成器がある場合〉※別売品の水受けトレイ(LO216)を準備してください。

① 固定ねじを取り付ける

※トラスタッピンねじ(φ3.5×30)は使用しません。



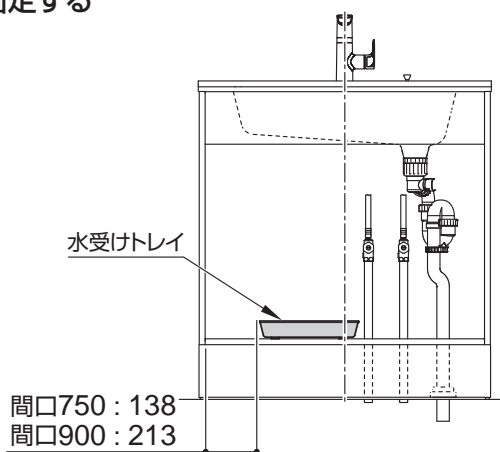
② 水受けトレイを取り付ける



〈「きれい除菌水」生成器がない場合〉

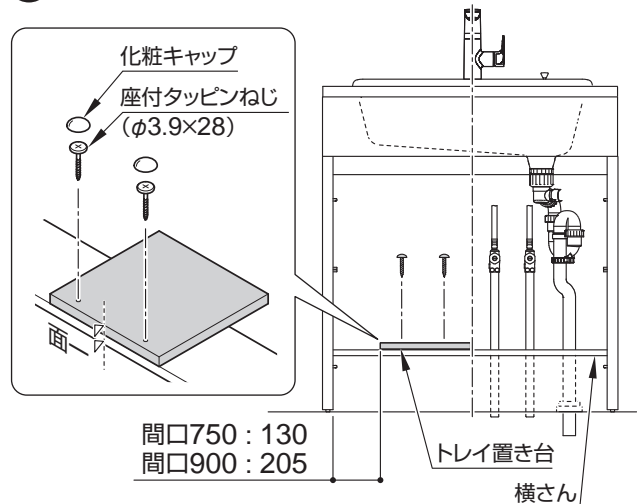
扉・引き出しタイプ

- ① キャビネット床面のごみ、ほこりを取り除く
- ② 水受けトレイ裏面の両面テープのはく離紙をはがし、キャビネット床面に強く押し付けて固定する

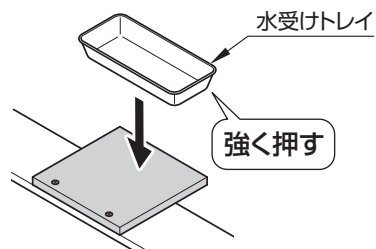


オープンタイプ

- ① 横さんにトレイ置き台を固定する



- ② 水受けトレイ裏面の両面テープのはく離紙をはがし、トレイ置き台に強く押し付けて固定する



化粧鏡を取り付ける場合

※化粧鏡に付属の組立・設置説明書をご参照ください。

5. 仕上げ

1 壁や洗面ボウルまわりの処理方法

⚠ 注意



必ず実行

**シリコン系シーリング材（メジシール）を
充てんする**
水漏れして家財などをめらす財産損害発生の
原因になります。

- カウンターと壁の突合せ部、および洗面ボウルまわりに、
防カビ性のシーリング材を充てんする
- ヘラなどを使用して、きれいに仕上げる

シリコン系シーリング材推奨色

クリア

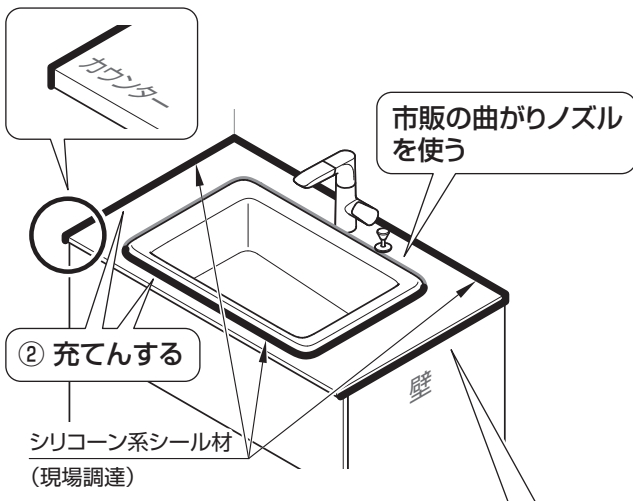
バックパネル(タイル調)の設置がある場合

バックパネル(タイル調)を取り付けてから充てんする

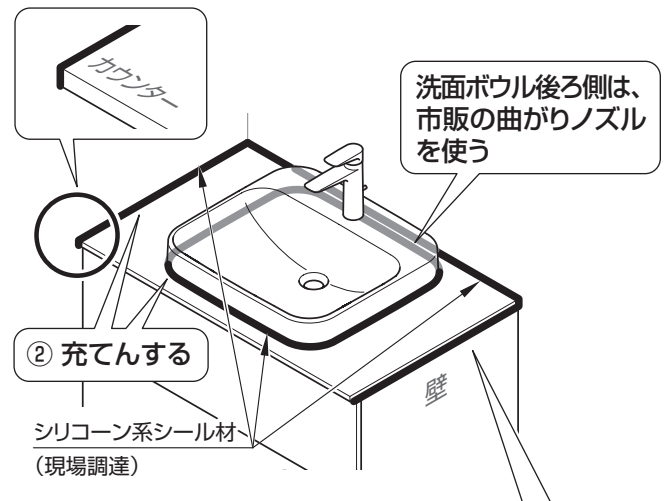
5

仕上げ

陶器製 広ふかボウル

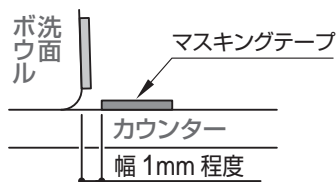


陶器製 洗面ボウル(ベッセル式)

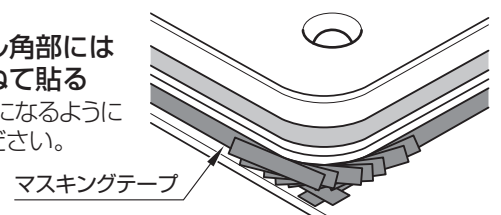


① マスキングテープを貼り付ける

全周均等に貼る
※幅が太くならないよ
うに貼ってください。



洗面ボウル角部には
複数枚重ねて貼る
※幅が均等になるよ
うに貼ってください。



③ ヘラなどを使って仕上げる

MEMO

2 部材の取り付けと調整

● 部材の取り外しは、P.9 を参照

重要

扉・引き出しの傾き・がたつきなど丁番・レールのゆるみがないことを確認し、必ず調整する

注意



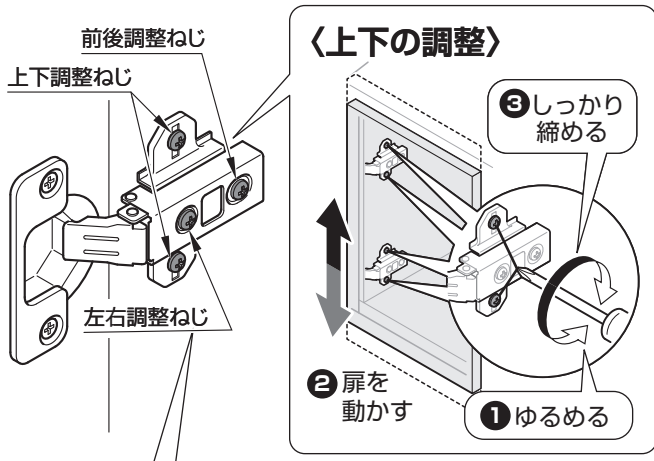
電動ドライバー禁止

部材が破損し扉の脱落につながり、けがをするおそれがあります。

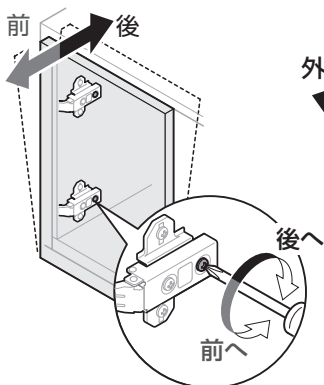


調整後、取付けねじをしっかりと締め付けて、ゆるみがないことを確認する
扉が外れて、けがをするおそれがあります。

〈扉の調整〉

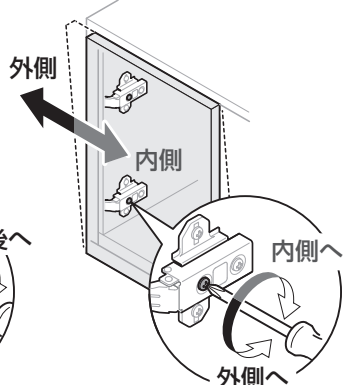


〈前後の調整〉



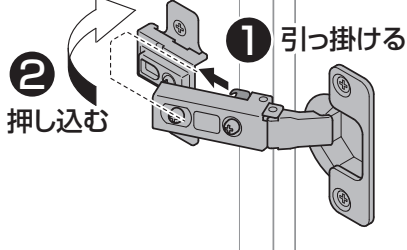
※左扉も右扉も
右回しで後へ
左回しで前へ動きます。

〈左右の調整〉



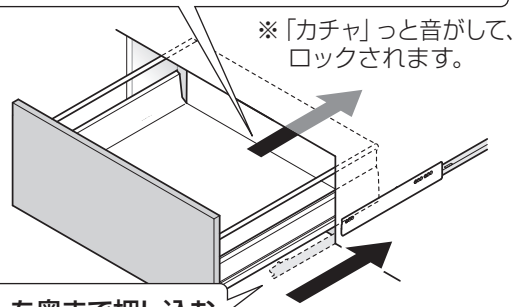
※左扉も右扉も
右回しで内側へ
左回しで外側へ動きます。

〈扉の取り付け〉



〈引き出しの取り付け〉

② 引き出しをレールの上に置き、そのまま押し込む



① レールを奥まで押し込む

注意



ギャラリーバーを持たない

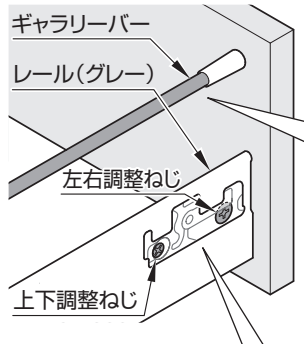
ギャラリーバーが外れて引き出しが落下し、けがをするおそれがあります。



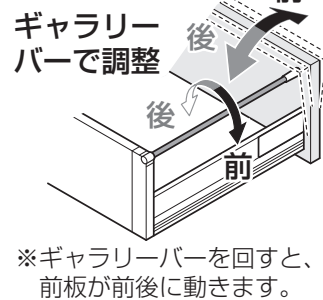
取り付けたあと、必ず2~3回開閉して確実に取り付けられているか確認する

扉が外れて、けがをするおそれがあります。

〈引き出しの調整〉



〈前後のずれ〉



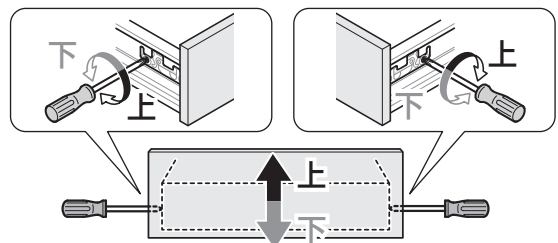
① キャップを取り外す



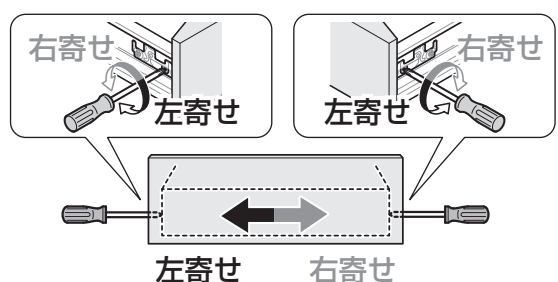
② 上下・左右調整ねじで調整

※片側だけの調整では動きません。
必ず両側のねじで調整を行ってください。

〈上下のずれ〉

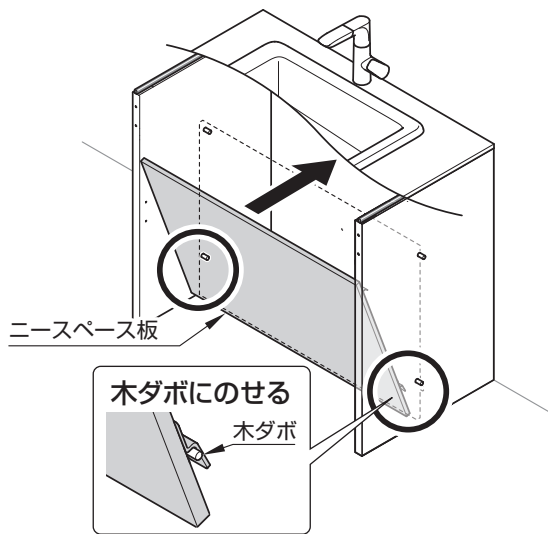


〈左右のずれ〉



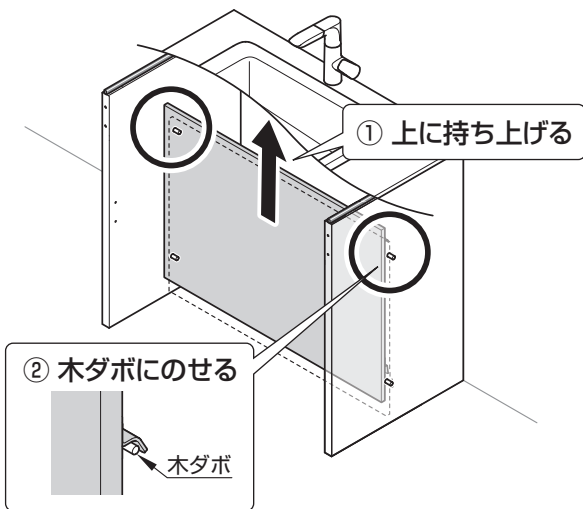
〈ニースペース板と棚板の取り付け〉

- ① ニースペース板下部の取付金具を木ダボにのせて固定する



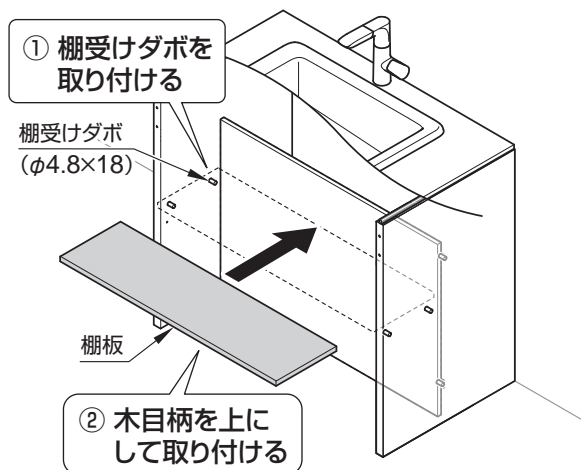
- ② ニースペース板を取り付ける

※取り付け後、確実に取り付いているか確認してください。



- ③ 棚板を取り付ける

※取り付け後、確実に取り付いているか確認してください。



3 取り付け完了後の確認と清掃

- キャビネットが壁に確実に固定されていることを確認する
- 通水し、配管内部の詰まり、配管接続部の水漏れ、ボウル内に汚れのないことを確認する
- 商品に付いた汚れ(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)は、ぬれた布をかたく絞ってふき取るその後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤を付けてふき上げ、最後にからぶきする

重要

有機溶剤(シンナー・アセトン)などの使用は表面を変色・変質させますので、絶対に使用しない

- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどで遮る
- 扉・前板・側板・化粧パネルに傷つき防止用保護シートが貼られている場合は、シートをはがす
- 引き出しタイプの場合、給水・給湯ホースと引き出しが干渉しないことを確認する
※引き出しが閉まらない、給水・給湯ホースが傷つく原因になります。干渉する場合は、ホースのたるみがないように調整する
- 棚受けダボの抜けがないか確認する

4 凍結予防の仕方

※水栓金具・「きれい除菌水」生成器の水抜きについては、付属の施工説明書をご参照ください。

⚠ 注意



必ず実行

- 凍結のおそれのある時期に取り付けされた場合は、別途設備された水抜き栓の操作と合わせて、次の要領で水抜きをしてお客様にも水抜き方法をご指導ください。
- 水抜きコックは手で確実に締め付け、工具は使用しない
水漏れの原因になります。

寒冷地タイプの場合

〈排水トラップの水抜き〉

- ① 水を受ける容器を置く
- ② 排水トラップの水抜きコックを開ける
- ③ 水抜き後は、必ず水抜きコックを手締めで確実に閉める

